家庭ごみの収集方法等に関するアンケート　集計結果概要

・調査目的　ごみ処理経費の削減及びごみ処理費用の公平負担について町民のニーズを把握し、家庭ごみ（可燃ごみ）の収集方法等に関する検討資料とするため。

・実施期間　令和２年９月11日から10月１日　　・発送数　1,000件

・回答数　587件（回収率　58.7%）

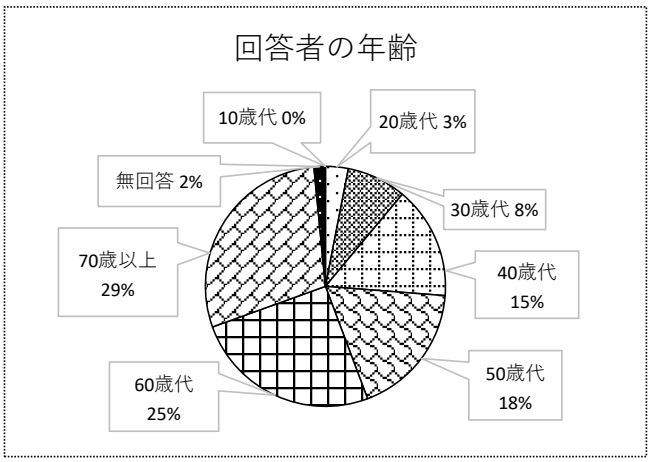
・回答者の傾向

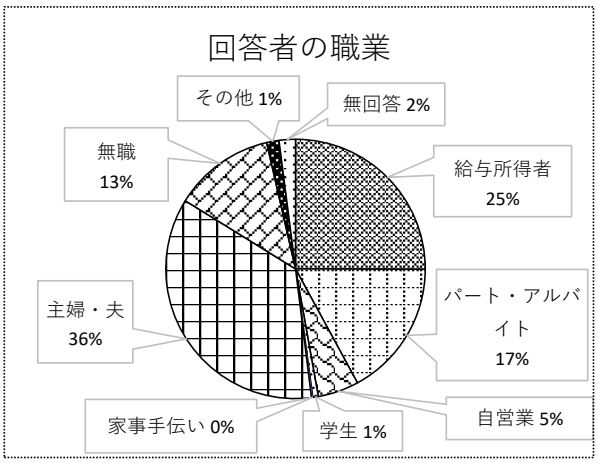
性別：女性70%、男性26%、無回答4%

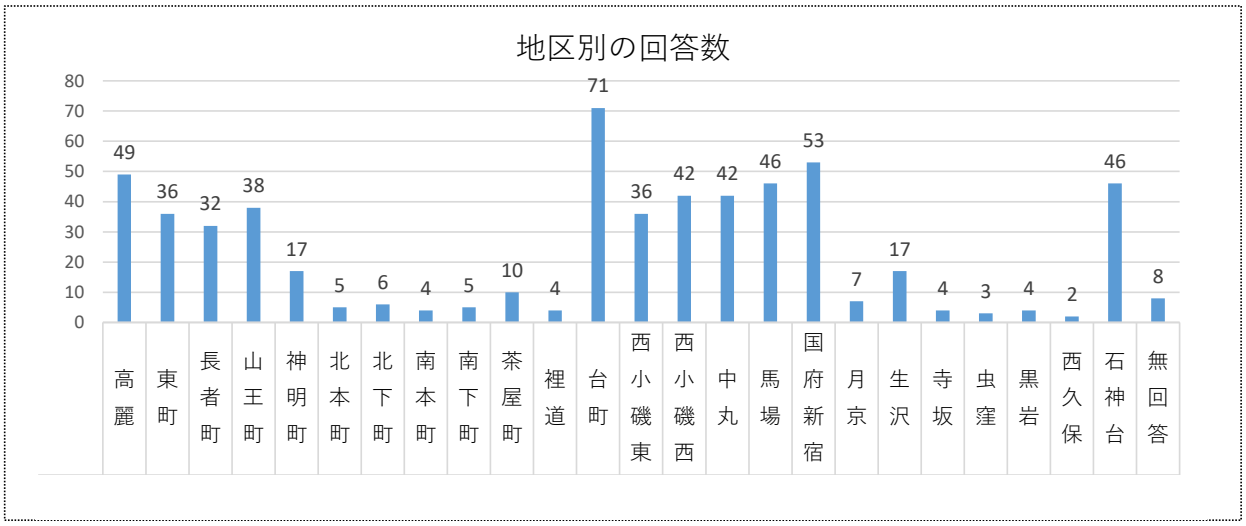
年齢：50歳代以上の回答が多く、全体の72%を占めています。

職業：主婦・夫、給与所得者、パート・アルバイトからの回答が多く、全体の78%を占めています。

地区：地区毎に人口及び世帯数に差があるため、回答数にばらつきはありますが、町内全地区にお住いの方から回答がありました。

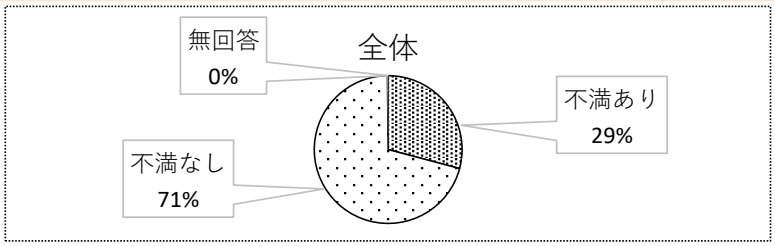


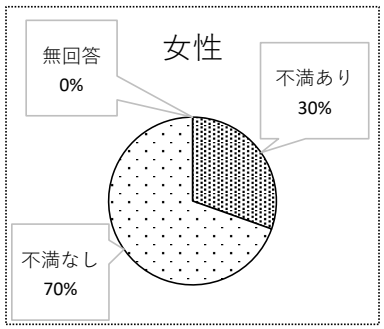


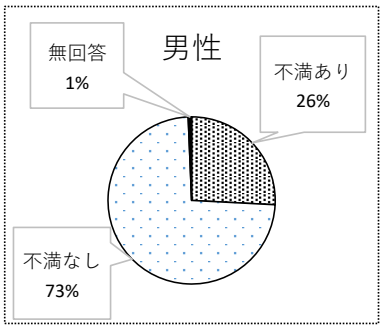


（1）現在のごみ集積場所について

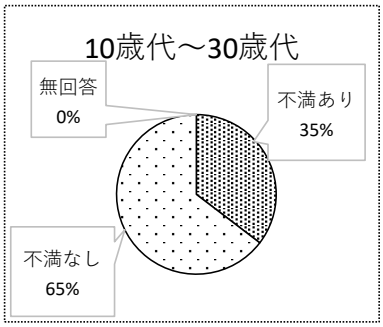
ア. 現在の使用しているごみ集積場所で、ごみ出しや管理等に不満はあるかの質問では、現在の使用しているごみ集積場所で、不満ありと回答されたのは29%、不満なしは71%となっています。

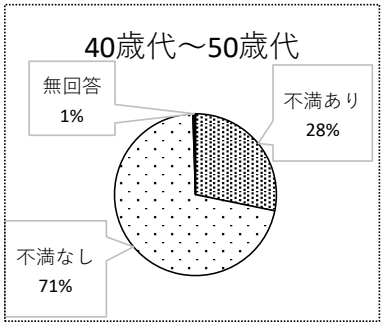


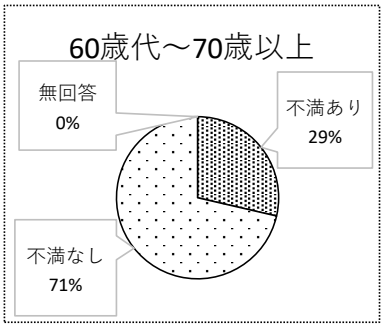




イ.不満ありについて、男女別では若干女性の方が多くなっています。また、年齢別では10歳代～30歳代が若干多くなっています。







ウ.不満ありと回答された要因は次のとおりとなっています。

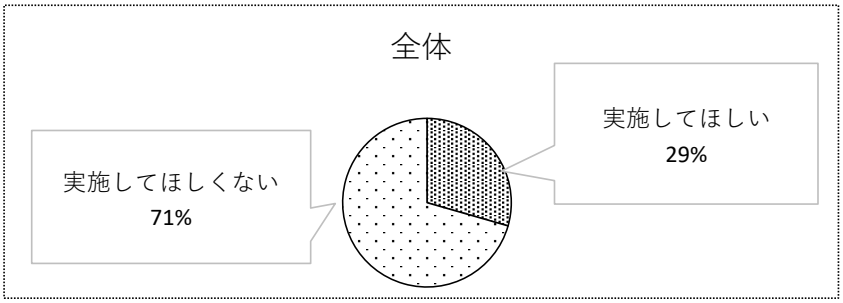
困っていること第１位	カラスなどにごみ集積場所が荒らされて困っている
困っていること第２位	ごみを分別せずに出す人がいて困っている
困っていること第３位	ごみを集積場所まで運ぶのが困難になってきた

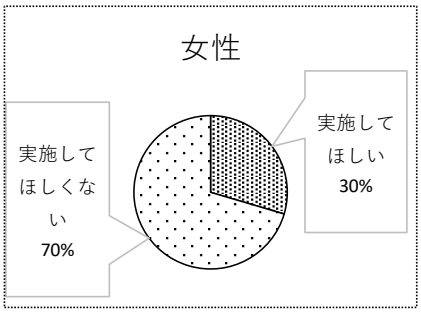
困っていることの第１位から第３位までを合計すると以下のようになりました。

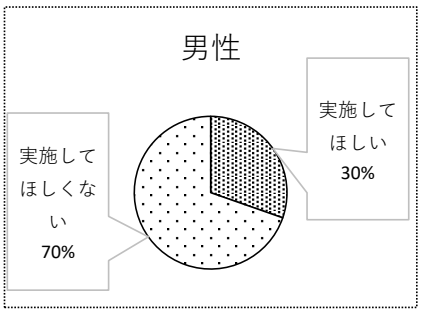
内訳	第１位	第２位	第３位	第１～3位の合計
カラスなどにごみ集積場所が荒らされて困っている	65	25	9	99
ごみを分別せずに出す人がいて困っている	56	31	14	101
ごみを集積場所まで運ぶのが困難になってきた	12	3	4	19
歩道（道路）上にごみ集積場所があり、危険である	9	16	3	28
歩道（道路）上にごみ集積場所があり、街の景観を損ねている	7	6	11	24
ごみ集積場所の設置場所や維持管理でトラブルが生じている	7	9	4	20
ごみ集積場所を自宅付近に移動してほしい	7	8	1	16
ごみ集積場所を自宅付近から離してほしい	1	1	1	3

(２)戸別収集の実施について

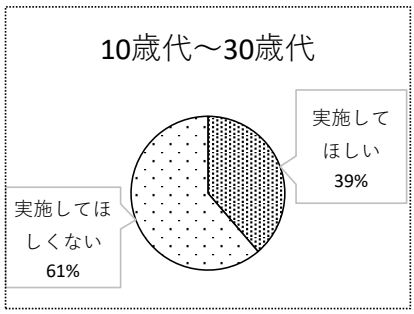
ア. ごみの戸別収集（可燃ごみ）を町に実施してほしいと思うかの質問では、回答された方のうち戸別収集についてどちらかといえば実施してほしいと回答されたのは29%、どちらかといえば実施してほしくないは71%となっています。

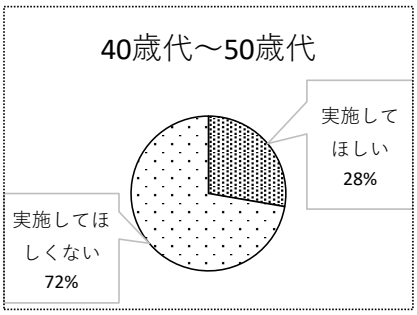


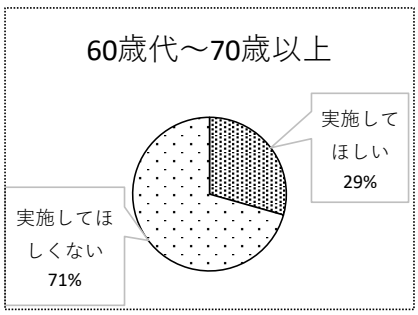




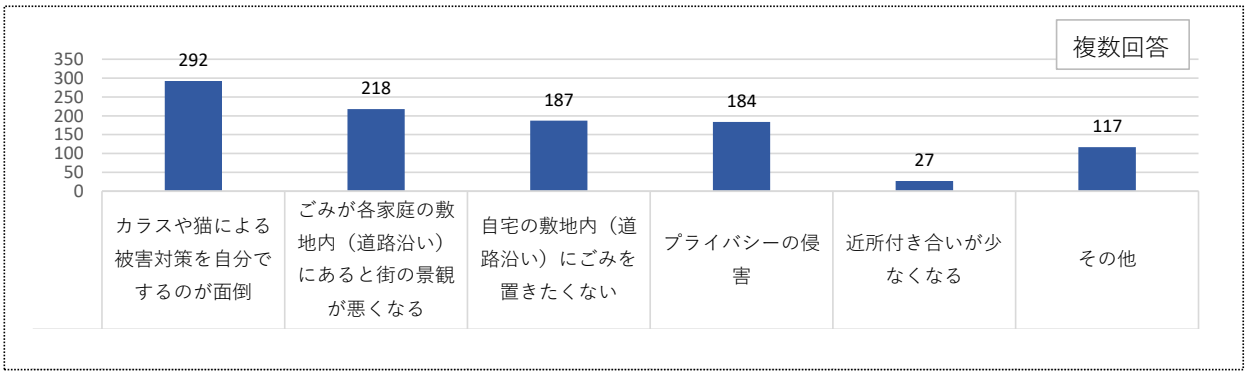
イ.男女別の差異はほとんどありませんでした。また、年齢別では10歳代～30歳代の実施してほしいが若干多くなっています。







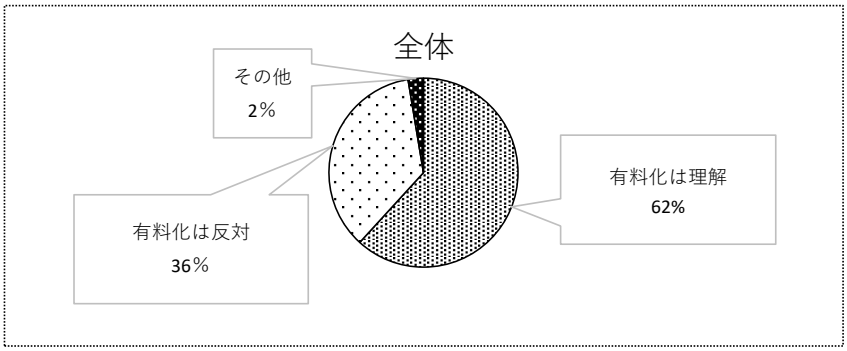
ウ. ごみの戸別収集で弊害があると考えられることは何かについての質問（複数回答）では、カラスや猫による被害対策を自分でするのが面倒が29%、ごみが各家庭の敷地内（道路沿い）にあると街の景観が悪くなるが21%、自宅の敷地内（道路沿い）にごみを置きたくない、プライバシーの侵害がそれぞれ18%となっています。

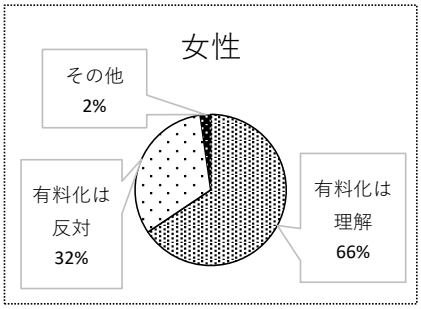


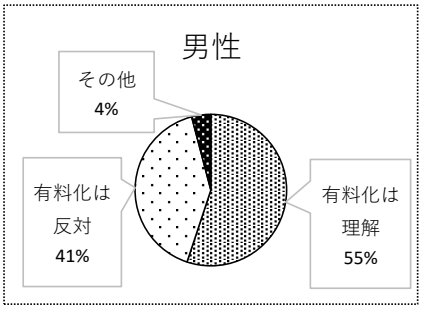
(3)ごみ処理の有料化について

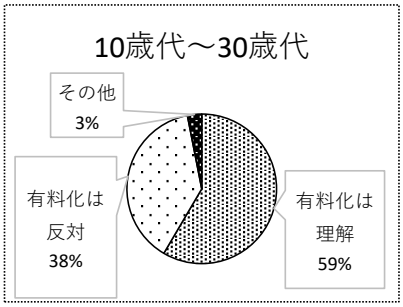
ア. ごみ処理の有料化についてはの質問では、回答された方のうち理解できる、どちらかといえば理解できると答えた人が62%、反対する、どちらかといえば反対が36%となっています。

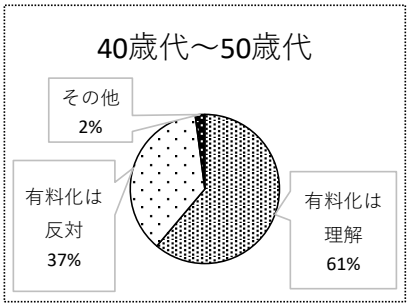
男女別では、男性よりも女性の方が有料化に対して理解を示す方が多くなっています。また、年齢別では差異はありませんでした。

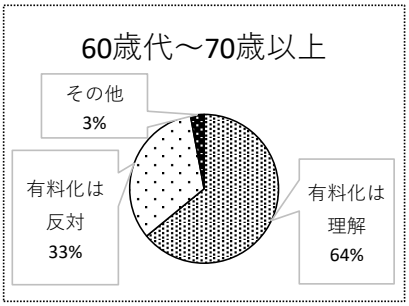




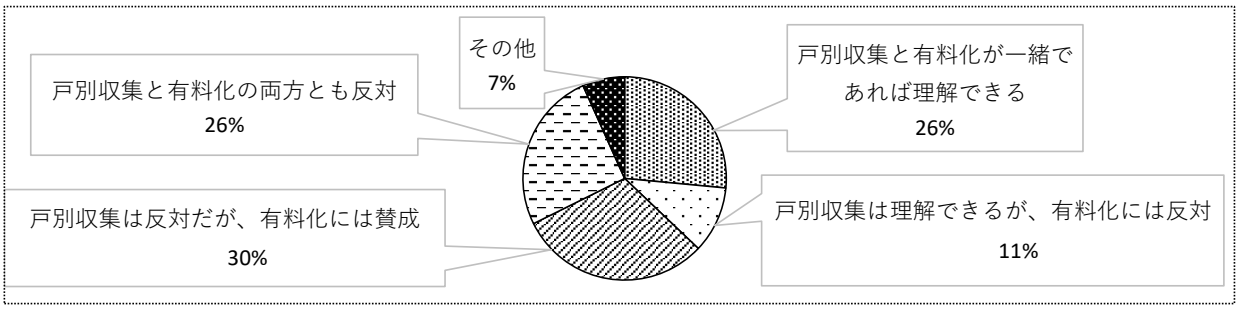




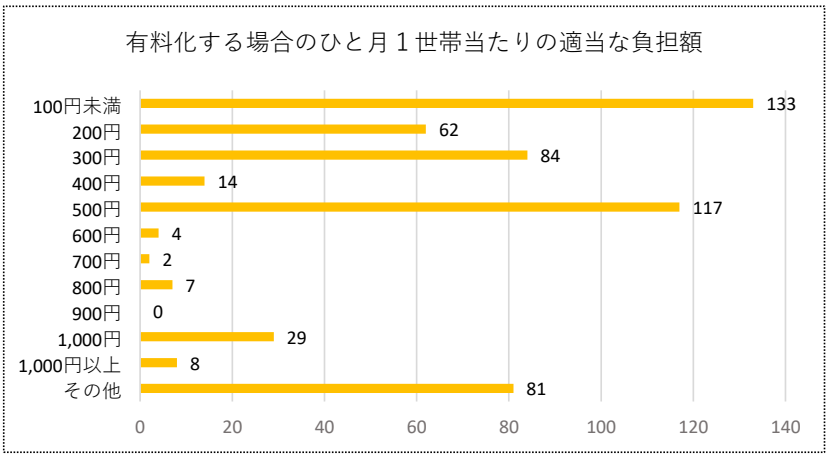




イ. ごみの戸別収集にかかる費用を有料化によって補うことについては、戸別収集は反対だが、有料化には賛成が30%、戸別収集と有料化が一緒であれば理解できるが26%、戸別収集と有料化の両方とも反対も26%となっています。



ウ. ごみ処理の有料化をする場合、ひと月１世帯当たりの負担は、どの程度が適当だと思うかについては、100円未満が約25%、続いて500円が22%、300円が16%、200円が12%となっています。その他は、右表のとおりとなっています。



(4)まとめ

ア.アンケート結果のまとめ

(ア)戸別収集

29%の方が戸別収集を実施してほしいと回答され、71%の方が戸別収集は実施してほしくないとの回答でした。

戸別収集を実施してほしい理由としては、ごみ集積場所でのカラス被害などの軽減、ごみ集積場所の管理負担の軽減、ごみ集積場所へのごみ出し負担の軽減が挙げられました。

戸別収集を実施してほしくない理由としては、主にカラスや猫による被害対策を自分でするのが面倒、ごみが各家庭の敷地内（道路沿い）にあると街の景観が悪くなる、自宅の敷地内（道路沿い）にごみを置きたくないという事が挙げられています。

(イ)ごみ処理の有料化

62%の方がごみ処理の有料化は理解と回答され、36%の方がごみ処理の有料化は反対との回答でした。また、戸別収集にかかる費用を有料化によって補うことについては、戸別収集は反対だが、有料化には賛成が30%、戸別収集と有料化が一緒であれば理解ができるが26%でした。

ごみ処理の有料化は反対の理由としては、指定袋の購入が有料化であると思っていた、不法投棄が増えるのではないか、町民が等しく受けられる行政サービスであるべきという事が挙げられています。

また、戸別収集実施の有無にかかわらず、現行のようにごみ処理費が無料では行政に限界がある、ごみ減量化の実現のためには必要との理由から、ごみ処理の有料化に理解できる方が多い結果となりました。

イ.アンケート結果を受けた検討事項として

(ア)戸別収集の導入について

県内では４自治体が戸別収集を導入、２自治体が導入を検討しています。これら自治体のごみ収集は、自治体職員による直営収集となっており、当町のごみ収集は業者による委託収集で行っています。

戸別収集を実施する場合、1人が運転に専念し、2人が歩いて各家庭を回りながらごみの回収をする必要があることから3人乗車での収集が必要となります。

本町の委託収集は２人乗車での作業を行っています。現在の収集業務に必要とする最低限の人員と車両で収集業務を行っており、戸別収集導入にあたっては人員を増やす必要があります。

また、戸別収集では収集作業に要する時間が現状よりかかることから車両の増車必要になります。

直営収集を行っている自治体では3人乗車での作業が多く、また、車両にも余裕があることから、戸別収集の作業が増えてもごみ収集経費の増加はあるものの、著しく増額するものではないと考えられます。

しかしながら、本町が戸別収集を導入する場合、車両の増車や人員の確保が必要となり、戸別収集を実施すると委託経費が大幅に増加することが予想されます。

以上のことから、導入については、財政的観点や業務的観点から厳しい状況となっており、今後の取り組み方について検討してまいります。

現在、福祉施策として高齢者及び障がい者を対象としたふれあい収集事業を実施してしていますが、この事業の対象者以外にも集積場所にごみを出すことが困難な方もいることから、ごみ出し支援の方策等について検討してまいります。

(イ)ごみ処理の有料化について

家庭ごみの有料化は、ごみ袋にごみ処理手数料が賦課されるため個人負担が増加しますが、排出量に応じて費用負担に差が生まれるため、負担の公平性が確保されるとともに、負担を軽減しようとする経済的インセンティブ（動機付け）が働き、排出抑制及び分別意識の向上が期待できます。

本町としてはごみの減量化・分別の徹底は大きな課題と考えており、アンケート結果では有料化については62％の方が理解を示していることから、循環型地域社会の形成やごみの減量化、分別意識の向上のため、今後家庭ごみの有料化や環境に配慮したごみ袋の導入について検討してまいります。

(5)自由意見欄の主なもの

ア.戸別収集・ごみ処理の有料化

(ア)戸別収集及び有料化の両方に肯定的な意見は19件、否定的な意見は26件でした。

(イ)戸別収集は賛成だが有料化は反対の意見は6件で、その主な意見は、

・戸別収集の手間（人件費）は大変な負担と思うが、無責任な分別が減る。

・有料化など実施するとポイ捨てが増えることが心配。　などでした。

(ウ)有料化は賛成だが戸別収集は反対の意見としては33件で、その主な意見は、

・戸別収集になるとごみの出し方のモラルが低下する可能性があり、道路のごみがカラス等により散乱してしまうと景観も悪く大変危険。

・ごみ処理有料化をし、既存の集積場所に折り畳み式のネットボックス等を設置し、作業員の負担を増やさないようにしてほしい。

・戸別収集になると作業員の負担が増え、非効率である。

・有料化はある程度理解できるが、経済的負担は最小にし、集積場所を引き続き利用できるようにしてほしい。　などでした。

イ.戸別収集

(ア)戸別収集についての肯定的な意見は26件で、その主な意見は、

・高齢化が進むと集積場所まで出すのが困難になる。

・集積場所で利用者以外の人が捨てていくことが解消される。　などでした。

(イ)否定的な意見は42件で、その主な意見は、

・収集作業が増えるために収集時間と収集経費が増える。

・プライバシーや臭気が気になる。

・折畳み式ネットボックスを購入したばかりで困る。　などでした。

ウ.ごみ処理の有料化

(ア)有料化についての肯定的な意見は20件で、その主な意見は、

・ごみ減量化実現のために必要となる。

・現在のごみ処理費用の可視化により受け入れられやすくなる。

・今のように無料としているのには限界がある。　などでした。

(イ)否定的な意見としては19件で、その主な意見は、

・指定袋を購入しているので有料化していたと思っていた。

・不法投棄が増えるのではないか。

・誰でも受けられる行政サービスであるべき。　などでした。

エ.その他

(ア)その他の意見は82件で、

・ごみ量（袋の大きさ）に応じて処理経費をとるべき。

・希望者に限定して試験的運用を図ってはどうか。

・他県ではカラス被害対策として夜間収集を行う自治体がある。　などでした。